



広報

# うまじ

第226号

平成17年12月1日発行



## 千年のイチイの木の下に集う

秋の西又山登山（11月13日）

### 目次

特集	ようこそ馬路村へ -----	②③
	馬路村で過ごして -----	④
	こうち山の日イベント ほか -----	⑤
教育	キャリア教育を進める -----	⑥
	成果をつなげよう -----	⑦
	就任のごあいさつ ほか -----	⑧
	Mr.カールのフォト・エッセイ -----	⑨
健康 教養	消防操法大会に出場 -----	⑩
	高知大附属病院からこんにちは ⑥ -----	⑪
	馬路村の歴史と伝説 ほか -----	⑫
	ふるさとへの便り・フォト人ウオッチング -----	⑬
	お知らせ -----	⑭
	村のできごと・村内あちらこちら -----	⑮

平成16年の度重なる台風のために、百年を越えるイチイ、ブナ、ゴヨウツツジなどが所々で倒れ、根っこが現れています。また紅葉も残念ながら見ごろの時期を過ぎており、足元の落ち葉もすでに茶色に変化していました。しかし、行きに鹿を、帰りにカモシカを観察できるなど、馬路の自然の豊かさを実感し、心満ち足りた登山となりました。



# ようこそ馬路村へ

十月二十三日(日)、魚梁瀬地区村民大運動会が開催されました。当日は雲一つない晴天に恵まれ、さわやかな秋晴れのもと、総勢約百八十人が楽しく交流しました。

地元「丸山チーム」「安芸森林管理署・学校チーム」「森林合同事務所チーム」「役場チーム」に加え、昨年に引き続き馬路村ファンが「全日本選抜チーム」を結成。広島、京都、大阪、長崎、大分など全国各地から昨年を上回る約八十人が参加し、熱戦を繰り広げました。

## 昼の部

選抜チームは「昨年のリベンジ!」と、男女混合年齢別リーグに闘志を燃やし、日ごろから練習を積んできた参加者もいました。午後の競技開始前に行われる恒例の応援合戦では、そよ風の衣装を着て、流りの音楽に合わせて踊るチアリーダーで登場した丸山チームをはじめ、即興で工夫をこらしたチーム、それぞれの

チームが特色を生かした応援を行いました。

また、林業で栄えた魚梁瀬ならではの(丸太切り競争)「手作」では、山師達人ぞろいの森林合同事務所チームが昨年に引き続き、圧倒的な強さを見せました。相野庁からの研修生、菊地要さんもこの競技に参加し丸太切りを初体験、「やってみると最初は調子よく切れていたのですが、しかし、こんな経験はなかなかできないので良い経験になりました」と感想を残しました。

## 夜の部

会場を多目的施設に移し、昼の部で優勝を逃した全日本選抜チームも「夜は負けられない!」との意気込みで、またまた夜の部(慰労会)。

会場には魚梁瀬婦人会の手料理がずらりと並び、村民をはじめ村外からの参加者もあたたかおもてなしを受けました。そして、夜の部でも再び披露された丸山チームのチア

リーダーたちの踊りや、地元の方によるはし拳指導も行われ、お酒の席は大変な盛り上がりでした。

交流会に参加した広島県からの参加者は、「夜の大宴会がすごく楽しかったです。村長さんと盃をくみかわし、お話をさせていただきました。村ぐるみの家庭的なおもてなしがありありがとうございました。来年が待ち遠しいです。来年は更の一つ上を目指して競技にあたりたいと思います」と早くも来年への意気込みに燃え、にぎやかな魚梁瀬の夜は更けていきました。

今年も全国各地から馬路村ファンが集い、地域住民らと熱戦を繰り広げ、語らい、交流を深めました。

村では、今後もこのような参加型の催しや、機会を計画し、馬路村ファンの輪がどんどん広がっていくこと、また、村に来てくださった方々に満足して帰ってもらえるような地域づくりを努めていきます。



▶ 競技終盤の綱引きでは応援も気合いが入り、選手は最後の力をふりしほりました



▶ 時間の経つのも忘れて話が弾んだ夜の交流会

# 馬路村へ研修旅行

— 湘南学園高等学校 —

十月二十四日から二十六日、神奈川県湘南学園高校の二年生四十名が、研修旅行のため来村しました。

毎年行われているこの研修旅行は、四泊五日の行程で四国、九州、沖縄、北海道の四コースに分かれ、農・林・水産・畜産業にたずさわっている方々や、環境保全、伝統文化にかかわっている方々と交流して、その生き方や文化に学ぶことを目的にしています。

二十四日夕方に到着し、馬路温泉で夕食を済ませた一行は、「地域資源の活用術」と題した上治村長の講演を聴き、第一日目の行程を終えました。

翌二十五日は、柚子加工工場、馬路林材加工協同組合、エコアス馬路村を見学した後、「柚子コース」と「木こりコース」に分かれて農林業を体験しました。柚子コースは、柚子採り体験に続き、柚子寿司と曲げわっぱ作りを体験、木こりコースは、城山で間伐を体験しました。馬路村の農林業や食文化を体験した生徒たちの顔は、みんな満足そうでした。そして、この日は、生徒二・三人ずつに分散して村内のご家庭で夕食をいただき、時の経つのも忘れて、楽しいひとときを過ごした様子でした。二十六日の朝、昨夜夕食をともに

した村民に見送られる中、馬路村での思い出を胸に、四万十川などの目的地に向けて出発していきました。

馬路村で過ごした短い時間の中で、私たちの生き方や文化に触れ何かを感じてくれたことと思います。

研修旅行の受け入れにご協力をいただいた皆さまに感謝申し上げます。

間伐材をうちわやトレイに加工するまでの工程の説明を受ける高校生たち  
▼(エコアス馬路村)



▲収穫にはまだ少し早い時期でしたが黄色く色づいたのを選んで採りました(東川柚子園)

# 湯けむりピンポン in馬路温泉

十月十五日、馬路温泉大ホールで村観光協会主催による「第一回湯けむりピンポン」が開催されました。

エコアス馬路村の間伐材のうちわをラケットに、馬路温泉の浴衣を公式ユニフォームとしたダブルスのピンポン大会です。日ごろから卓球をしている方、この日のために急ぎょ練習をして参加した方など、村内九チーム、村外九チーム、三十九人の参加があり、村長、観光協会会長の歓迎、激励のあいさつの後、鮎(あゆ)、猪(いのしし)と名付けた二コートで、いよいよ試合が開始されました。

白熱した試合の中、力強いスマッシュにラケットのうちわが何度も折れる場面や、ナイスプレー続出にホールいっぱい熱い声援や拍手が送られ、会場は大変盛り上がりしました。試合は予選リーグと上位四チームによる決勝トーナメントを行った結果見事第一回目の優勝に輝いたのは室戸市、野市町から参加の姉妹ペアでした。

大会終了後は懇親会が行われ、お酒を酌み交わしながら楽しく交流を深めました。時間とともに話が弾む中、現在安芸市でラージボール(ルールは卓球とほぼ同じで、ラケットが少し違う)を行っている方が、村に指導に来てくださる。という話がまとまり、早速後日馬路体育



▲表彰式で優勝に喜ぶ岡村(室戸市)川村(野市町)ペア



熱い声援を受け選手は気迫十分次々と力強いスマッシュが決まります▼

館で第一回目の練習を行いました。馬路温泉が後日村外参加者にアンケート調査を実施しましたところ、第二回目もぜひ参加したい。交流を深めるためには胸に木の名札を付けたい。など、今後の意見が寄せられました。今回村外参加者二十人のうち、十一人の方が馬路温泉で宿泊されましたが、今後は、ピンポンだけではなく温泉にゆっくり入っていたら、合わせて村の観光もかねた宿泊コースで魅力ある大会となるよう企画したいと考えています。

# 馬路村で過ごして

10/13~11/11

十月十三日から十一月十一日までの三十日間、農村派遣研修で林野庁の菊地要さんが馬路村で研修を行いました。村で体験したことや感じたことなどを記して帰られましたので、ご紹介します。

こんにちは、林野庁からまわりました、菊地要と申します。出身は埼玉で昭和五十六年生まれの二十四歳です。こちら馬路村には、農村派遣研修という、どこか自分の行つてみたい農山漁村で民泊しながら、農林水産業の現場に直接触れて学び、それを糧に今後の政策の形成に生かすことを目的とする研修制度で訪れました。その間、馬路村では多くの貴重な経験をさせていただきました。

私が初めて馬路村のことを知ったのは、農林水産省に入省したところに日本経済新聞で馬路村の森林に対する取り組み（エコアスの木のバツグの記事だったと思いますが）についての記事を目にしたときでした。

その後も何度か新聞等で目にしており、また、今住んでいる寮の近くの吉祥寺には高知県のアンテナショップがあ

り、そこでごつくくん馬路村等の取り組みを目にし、森林や中山間の地域に関することで面白い話題の少ない中、一生懸命取り組んでいる地域の姿に興味を抱き、その原動力を一日か二日の観光や視察という形ではなく、三十日間かけてじっくり見てみたいと思い、馬路村を研修先に選びました。



魚梁瀬地区村民大運動会で直徑約三十センチメートルの丸太切りに悪戦苦闘

時期も良かったこともあって、魚梁瀬の神祭から始まり大運動会、青年団のもちつき等の各種イベントに参加させていただくとともに、間伐作業やゆず採り等（あまりお役には立てませんでした）東京では決して体験することのできない充実した研修（夜は特に）となりました。

## 人の温かさと時間の流れ

そのような中で強く印象に残ったのは、人の温かさと時間の流れ方の違いでした。馬路村には、東京とは異なり、神祭に代表されるような、私のようないわば見知らぬ者に対して非常に寛大に受け入れてくれる包容力、そして時計で行動するのではなく、自然とともに生きている（特に作業の現場では）というような独特な時間の流れがあり、とても感銘を受けました。

## 至福の「えい」時間

また、本当に多くの方々とお話をさせていただきましたが、その中で「ようこんな、なんかやあない村に来たね」という言葉をよく耳にしました。確かに都会にあるものは村にはないのかもしれないが、それに代わるものが馬路村にはある、それが田舎の魅力であり、都会の人は逆にそれを求めているのだと思います。そういう村の良さを守り育て、今後の地域づくりを生かしていつてほしいと思いました。

末筆になりましたが、この号が発行されるころには残念ながら私は村にはおりませんが、この三十日間、本当に何物にも代え難い大変「えい」時間を過ごさせていただきました。（土佐弁には苦労しましたが）

暖かく受け入れて下さった村の皆さま、また快く宿泊先となつて下さった木下雄幸様、智佐登様、彰二様、のぞみ様、陽太様、チロ様、大野忠康様、澄様、岡田元生様、由紀様にはこの場をお借りして厚く厚く御礼申し上げます。皆さま、本当にありがとうございます。



修学旅行で馬路村に来た湘南学園高等学校の生徒との語り



お世話になつた木下さんとお別れスナック

頑張りな  
元気な森  
ろうぶり

# こうち山のロイイベント

## 間伐体験とシンポジウム 山師達人選手権大会

11/5  
11/6

平成十五年に制定された「こうち山の日」。第十三回目を数える山師達人選手権大会など今年も県内各地で多彩なイベントが開催されました。

豊かな森林の恵みに感謝し、森林や山を守ることの重要性に対する理解と関心を深め、県民一人ひとりが森林を守る活動に参加し、また自ら行動することによって山を守り育て、次代へ引き継いでいくことを趣旨として、十一月十一日を「こうち山の日」と定めています。

今年も山の日とその前後には、県内でさまざまなイベントが開催され、その一つとして、高知県と馬路村林業青年クラブの主催で、十一月五日に「間伐体験」と「シンポジウム」、翌六日には山師達人選手権大会が開催されました。

### 間伐体験・シンポ

五日、土佐山田町の甫喜ヶ峰森林公園で開催された間伐体験とシンポジウムには、家族連れなど五十人以上が参加

しました。間伐では、ノコギリを手にヒノキと悪戦苦闘の様子に轟音を響かせて倒れる様子が歓声があがり、差し込む日差しに感慨深く上空を見つめる参加者の姿が印象的でした。

また、午後からは、同森林公園内の広大な芝生の広場で、木と人出合い館長の塩田氏、旭東小学校PTA会長で工務店経営の白土氏、県森林局長の平野氏、上治村長をパネラーに迎え「今、私たちにできること」をテーマにシンポジウムが開催されました。パネラーからは、山側が望むこと、街側が望むこと、子どもたちに伝えたいことなどについて意見が出され、聴衆からも「山に足を向けるきっかけになった」、「子どもたちに森林の大切さを伝える活動に参加したい」などの発言があり、有意義な時間でした。

### 山師達人選手権大会

翌六日、今年で十三回目となる山師達人選手権大会が高知市内で開催されました。

時折、雨が強く降るあいにくの空模様でしたが、県内はもとより遠くは奈良県や愛媛県、また高知市内在住のイタリア人家族など四十組約百六十人の参加のもと未来の山師、親子山師、女性山師、山師達人の四部構成で熱戦を繰り広げました。大粒の汗を光らせて懸命にノコギリを挽いた丸太切り、足を滑らせ大きな水たまりに尻もちをついた丸太引き、目標に向けて切り倒す柚（そま）人などの競技に、観客の大きな声援と笑い声が会場に響いていました。

各部の優勝チームは  
未来の山師の部  
大津小学校（高知市）

親子山師の部  
ほんずら（馬路村）

女性山師の部  
大正娘（大正町）

山師達人の部  
湯浅建設（馬路村）

### 魚梁瀬の自然を語る会

魚梁瀬地区と、教育委員会が主催し、中森道雄氏を講師に招き「魚梁瀬の自然を語る会」を十一月四日に開催しました。

魚梁瀬杉の家で行われた「魚梁瀬の魅力は山にあり」と題しての講演会には二十二人の参加がありました。

講師の中森氏は、高知営林局を退職された後、現在は高知県立月見山こどもの森管理事務所に勤務され、安徽省日中友好の森ネットワーク代表、高知県緑サポーター协会会长などを務められています。

講演では、世界的な森林の状況、日本国内の状況、そし



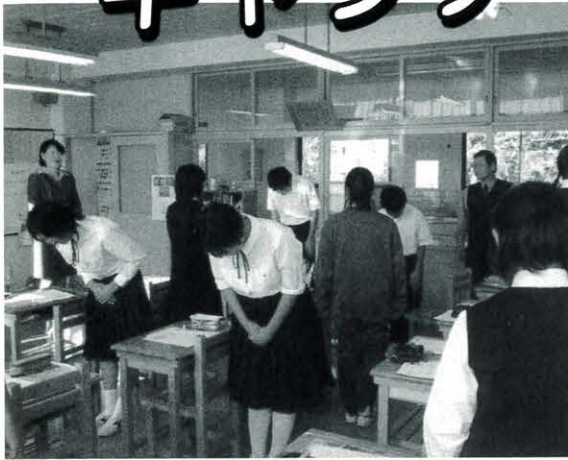
未来の山師の部で優勝した大津小学校（高知市）の丸太切り

山の魅力についての講演に耳を傾ける参加者たち  
（魚梁瀬杉の家・杉の園）



て森林の有益性などを、写真や木の標本を用いて説明されました。また、魚梁瀬の自然についての話では、千本山の杉は樹齢もほぼ同じでまっすぐに伸びている。このことは非常に珍しい。また林内にある大きいサカキも大変珍しいこと、西又山のイチイは四国一の大きさである。馬路地区でも東川の観音杉、朝日出、細井山の杉など樹木の大きさに着眼した話がありました。今、登山者の関心は木の花、珍しい木、巨樹古木へ移り変わっていることなどの説明があり、魚梁瀬の自然を観光へ活用するヒントを与えてくれました。

# キャリア教育を進める



▲たかが“あいさつ”されど“あいさつ”  
職場体験学習をひかえ、真剣に練習に取り組む  
(10/31:魚梁瀬中学校接遇研修)

先号からはじまった新コーナー「キャリア教育を進める」です。馬路村に育つ子どもたちの将来にわたる幸せを実現するために、4つの小・中学校が協力して取り組んでいる教育活動の一端を紹介します。

## キャリア教育って?

進学したけれど、就職できない。就職したけれど、辞めてしまおう。心太式に次の学校、職場へ送り出され、挫折する子どもが増えています。そこで、従来の進路指導、職業指導を刷新し、早い時期から社会に立つ姿を描きつつ、その姿を実現するために必要な能力を育てていこうというのがキャリア教育です。

「職業的（進路）発達にかかわる諸能力」（下段図）の促成栽培はできません。時間をかけじっくり取り組むほど確かな力が育ちます。だから、小学校でもキャリア教育を新装開店したというわけです。

## キャリア・アドバイザー活用

整えます。また、いつでも、どこでも、誰にでも、明るく元気よく、目を見て、自分から先にあいさつしましょう」と、社会人の姿勢や常識を具体的に学びました。

◎アロの生き様を学ぶ  
レストランシェフの蝦名彰人さんは、勉強嫌いで高校



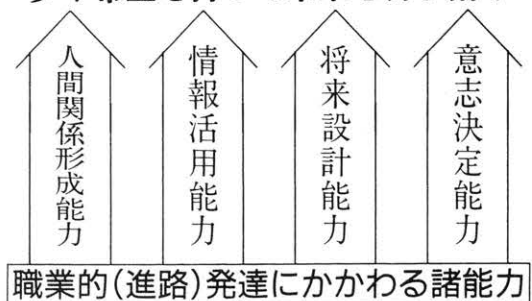
▲プロの技と集中力の“ものすごさ”に接する  
(10/30:キャリア・アドバイザー 蝦名彰人氏による氷の彫刻、馬路中学校)

①接遇研修を受ける  
馬路村の全ての中学生が取り組んでいる職場体験学習。五日間に延長した今年、プロの講師による接遇研修を実施。「職場体験の期間中は学生ではなく社員です。職場のイメージアップのため、耳や手足の清潔など、身だしなみを

中退。飛び込んだホテルのcockという道で氷の彫刻と縁を持ち、修業を続けてついに日本一になった方です。まずやりたいと始め（やる気）、それを続ける（根気）なら、いつくるか分からないが、ラッキーが訪れるだろうと三つの「き」の大切さを語った後、

水の彫刻の実演を通じて、大きな感動を与えてくれました。体験的な活動は、キャリア教育の重要な内容ですが一部に過ぎません。すぐには結果が見えにくいけれど、日々の授業をキャリア教育の視点で見直しています。

## 夢や希望を持って未来を切り拓く



## （キャリア教育関連事業）

9月9日	キャリア教育推進連絡協議会
29日	ハローワーク職業講話（馬路中）
10月6日	キャリア教育推進連絡協議会
12日	接遇研修（馬路中）
18日	子育てとキャリア教育（馬路ひよこ）
27日	子育てとキャリア教育（魚梁瀬ひよこ）
30日	キャリア・アドバイザー（講話と実技）
	氷の彫刻・蝦名彰人氏（馬路中）
	生活体験通学合宿（1・2日）
31日	接遇研修（魚梁瀬中）
11月7日	職場体験学習（中学生）（11日）
	キャリア教育研修（瀬戸田町）
8日	キャリア教育研修（犬山市）
25日	キャリア・アドバイザー講話
	和田智香氏（両中学校）
12月5日	ワン・ポイント教育模範授業
15日	キャリア教育発表会（馬路中）
	職場体験学習発表会（馬路中）

# 成果をつなげよう

## 職場体験 学習六年目 (11/7~11)

馬路、魚梁瀬両中学校では平成十二年から「職場体験学習」を行っている。これは、  
①地域の人々とふれ合い、村民の一人として地域社会活動に参加する。

②働くことの大切さや喜び、苦勞を知り、自分の将来の進路選択に生かす。

③仕事を通じて、協力することや思いやり、感謝など人として何が大切かを考える。

④人に頼らず、自分のことは自分でやりきる意思と行動を身につける。

の目的で行っており、将来自分が社会人として幸せに生きていくために、今のような力を磨いておかなければならないか、この体験を通じてじっくり考えてみる機会にしている。今年は一十の職場でそれぞれ行われ、僕は教育委員会を体験先に選んだ。そのひとつとして広報うまじの「職場体験学習」の記事作成を二ページ任せられ、今回三つの職場取材した。

### 馬路村農協購買課

馬路中二年、乾友哉さんと魚梁瀬中二年の山崎次朗さんは、この時期需要の多い柚子こしネットを必要な大きさに切ったり、キャップを二十個づつの袋詰めにする作業を行っていた。

朝の生鮮食品の仕入を棚卸しする作業や肥料の配達がとても大変だと、二人は言った。

実は、学校で「友哉さんはあまり接客には向いていないんじゃないか」と言われていたようだが、「レジ打ちやお客



▲お客さまにはいつも笑顔"を心がけました

さんとの接客はとても楽しい」と言っており、カウンターでの仕事もなんなくこなす。他の人が思っているような友哉

さんのイメージとは全く違う自分を出せて、将来の職業選択の参考になったのではないだろうか。

### 馬路村農協柚子加工場

職場での感想は？との質問に「最初の予想よりもはるかに疲れる仕事だ。機械の仕事をやりたいと思ったが、想像していたよりも手作業の多いのに驚いた」と馬路中一年の五味裕貴さんは言った。

この日取材に行ったとき、彼らはお客様のリスト、商品のパンフレットや「ゆずの風」新聞、注文はがきなどを入れた総計七百五十通のダイレクタメールを、一人百五十通作



▲積みきれないリストとパンフレットなどを三つな(フタ)の封筒に入れていきます

る仕事をしていた。お客様の顧客リストなどは個人情報なので、一枚でもミスは許されない大変な作業でした。

### エコアス馬路村

最後の取材はエコアス馬路村の山仕事。三つの職場の中で一番過酷な仕事内容だった。

この職場で働くのは馬路中三年の久保勇太さん、同二年の小笠原考洋さん、魚梁瀬中三年の小松明生さんの三人。山に行くのは二日目の三人

は、魚梁瀬の奥の影地山という国有林で林道の歩道作りをしていた。作業現場に行くには、細くデコボコの急斜面の歩道を三十分以上登らなければいけない。ころげ落ちれば助からないような道もある。

少し登っただけで息が切れる。作業は杉の葉や木などでいっばいの崖を、鍬で土を固めノコギリで周りの木の枝や草などの障害物を切って歩道を作っていく。

僕は改めて山仕事の大変さを痛感したが、三人は「とても楽しい。こんな関係の仕事をした」と前向きに力強く語ってくれたのが印象的だった。

### いい経験ができました

体験の内容はそれぞれの職場でさまざまだったことだろ



▲自分たちで作った新しい歩道ができるのは大変だけど、とても楽しい作業

うが、みんなが一つの仕事を任せられるということ、また、地域社会で一人の人間として生きていくことはどういう意味があるのか、自分なりに考えるよい機会になったことだろう。



僕は、不安いっばいで臨む体験一日目が済むと、ほっとした。心配する両親にもその日のできごとを報告し、この一週間は食卓の話題にもぎやかだった。来年も今までに学習してきたことを生かし、ますます充実したものにしたい。

最後にそれぞれの職場で、多くの方に温かく迎え入れ、お世話していただきましたことに中学生一同感謝します。  
馬路中学校二年 清岡直樹

# 就任のごあいさつ

〔助役〕

平成十七年十月二十一日から、新しく助役に清岡博之、教育長に岡田元生がそれぞれ就任しました。村行政に力強い新風を吹かせてくれることを期待します。



清岡 博之  
(51才、相名)

このたび馬路村助役の重責を命ぜられました。どこの市町村とも合併しない自立を選択した小さな「村」が、将来にわたって自立を確保していくためには、村内各所に埋もれている多種多様な知恵を発掘し、宝の原石を磨き上げていくこととする不断の努力が欠かせません。



岡田 元生  
(55才、相名)

このたび教育長に選任を頂きました。三十五年間役場に勤務させて頂いてきましたが、教育委員会は初めての任務となります。これまでの行政経験等を生かし教育行政にあたってまいります。学校関係では本年度村内四校がキャリア教育を文部科学省から指定を受け最重点課題として取り組んでいます。この取

〔教育長〕

知恵や原石とは人であり、物であり、自然であったり、時には文化であったりするでしょう。しかしながらその推進力となる「ヒト」と「カネ」の量にはおのずと限界があります。その限界を打ち破るためには村民の皆さんの力をお借りすることがもつとも有効です。同時に、役場の職員が率先して知恵をしぼり、汗を流して職務を展開させ、車の両輪を形成させていくことが重要です。今ある状況や事業が果たしてどうなのか、常に執行状況を確認し、行政効果を測定し、評価を加えていくことも欠かせません。

限られた「ヒト」と「カネ」で最大の効果が生まれるよう、非力ではありますが誠心誠意努力したいと考えています。なにとぞよろしく願います。

り組みは今までも行ってきた村の良さを感じ取り、自らの進路を意識し、たくましく生きるための教育を強く推進するものです。また、社会教育においては村民憲章に掲げられた、自然を愛し健康な体を育て、元気な馬路村づくりを推進していきたいと考えております。以上を推進していくのには、みんなのあいさつが家庭や学校・職場・近所で自然に出ることから始まると思います。今後ともに皆さま方のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

人事 (10月21日)

〔健康福祉課長〕

五藤 寿史 (健康福祉課主監から)

## 平成16年度 馬路村人事行政 運営状況

(平成16年4月1日から  
平成17年3月31日まで)

付与日数	45人(取得総数)	1人当たり
1792日		39.8日
取得日数	448.6日	10.0日
取得率	25.0%	

### 1、職員の任免及び職員数に関する状況

採用者 1名  
職員数 46名  
(平成16年4月1日現在)  
退職者 3名(医師含む)

### 2、職員の給与の状況

給与の状況については  
広報うまじ222号に掲載  
していますのでご覧ください。

### 3、職員の勤務時間

その他の勤務条件の状況  
○勤務時間の状況  
休憩時間を除き、4週間を  
超えない期間につき1週間  
当たり 40時間  
始業時刻 8時30分  
終業時刻 17時15分

※特殊性のある職務については別途勤務時間を定めている。  
○休暇等の状況(平成16年)  
●年次有給休暇の取得状況  
(派遣を除く)

### 4、職員の分限及び懲戒処分等の状況

休職 1名  
減給 1名

### 5、職員の服務の状況

●育児休業者、介護休暇取得者 なし  
●職務専念義務免除の状況 なし

### 6、職員の福祉及び利益の保護の状況

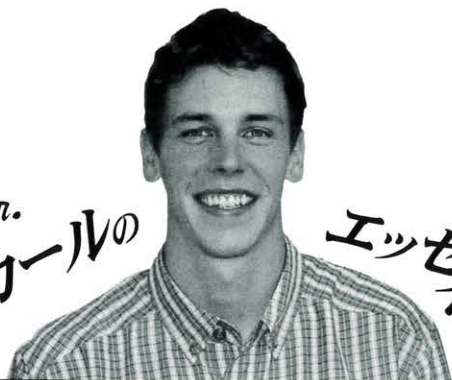
○健康診断及び人間ドックの実施  
健康診断受診者数 13名  
人間ドック受診者数 31名  
公務(通勤)災害 0件

### 7、研修の状況

(こうち人づくり) 広域連合での研修  
○階層別研修  
能力向上・開発研修等 5名  
パソコン関連研修 11名  
2名



Mr. カールの エッセイ



②  
外国語指導助手 カール・レイフ・エリクソン  
(アメリカ合衆国、ミネソタ州、サークルバインズ 出身)

## 天保の家での宿泊

私が天保の家を初めて訪ねたのは、馬路にきて2週間くらいたったところだった。初めてその家を見たとき、私はその外見の良さに驚いた(印象付けられ、感激した)。その家はあまりに良い状態であったので、みんなが言うほど古いなんて信じられなかった。しかし、近くに行ってよく見てみるとそれは確かに、本当に古いものであった。この家がそんなに古いとわがると、この家の経てきた歴史に惹きつけられた。

この家で昔の人がどんな人生(生活)を送ったのだろうか、そして私たちが今日慣れ親しんでいる便利な道具なしで生き抜くためにはどれだけの重労働を強いられたのだろうか、想像した。ガスストーブや電子レンジ、テレビのない生活を想像するのは難しかった。初めての訪問を終えて、私がその家を離れるとき、私はとても特別な何かに思いをはせたという良い気分を満たされていた。

次に天保の家を訪ねたときには、幸運にもそこで夕食をとり、一晩泊まれることになった。私たちは部屋の真ん中にあるいろりを使って家の中で夕食を作った。私はすべてがうまく機能するのに感動した。火からでた煙は部屋の中に充満せず、私たちは咳をすることもなかった。そのかわりに煙は穏やかに天井にのほり、家から出ていった。いろりの火で私たちは夕食を作り、快適に夕食をとる間、暖まった。いろりの横ですわり、食べている時、この家の歴史を思った。私はずっと昔に、今私がしているのと同じように、いろりのそばで暖まりながら食事をした誰かがいたということ想像して、その夜そこでいられたことを光栄に思い、幸せに床についた。

## フォト ②



①



②



③



④

① アメリカのカードゲーム“スラップジャック”を楽しむ

② 白米にするのは大変な仕事だ

③ 歴史を生きる

(以上 天保の家)

④ おなばれ(12月3日)

②, ③, ④はカールが撮りました。

高知県消防操法大会が十一月六日(日)、高知県消防学校(いの町)で開催され、県下の消防団員が日ごろの訓練の成果を競い合いました。

当日は朝からあいにくの雨模様でしたが、選手や、関係者など約八百人が会場を埋め尽くしました。

競技はポンプ車と小型ポンプの二部門あり、長さ二十メートルのホース三本をつなぎ、放水で標的を落とすまでの動作の正確さとスピードを競うものです。

二年に一度のこの大会には、ポンプ車操法の部に十七チーム、小型ポンプ操法の部に十八チームが参加しました。このうち中芸地区代表としてポンプ車に北川村消防団、小型ポンプに馬路村消防団魚梁瀬分団がそれぞれ出場しました。



魚梁瀬地区村民大運動会で、訓練の成果を披露する魚梁瀬分団▲  
(10月23日、魚梁瀬小・中学校運動場)▼

## 消防操法大会に出場 1/6



魚梁瀬分団は九月から約二か月の間、仕事が終わると魚梁瀬丸山公園に集まり、訓練を重ねてきました。頭から足のつま先まで採点されるので、からだ全てに神経を使うのは大変でした。大会に出場する五人の動きに、他の団員の指導が入り、日ごとに上達していきました。「入賞も夢じゃない」と、大会目前には馬路村消防団長の平山崇さんの意気込みも最高潮に達していました。

午後十二時過ぎに、小型ポンプの部に出場の魚梁瀬分団の競技が開始。大勢が見守る中で、緊張を隠しきれず十分な成果が発揮できなくて、あいにく入賞は逃しましたが、今後も身につけた訓練を地域の防災活動に生かし、活躍されることを期待します。

## 急ぐほど正しくはききろ 110番

一一〇番は、事件・事故に遭った、あるいは見た、知った皆さんから緊急に警察へ通報する「緊急電話」です。  
高知県内どこからでも一一〇番をダイヤルすると、警察本部の一一〇番受付台に掛かります。

### 一一〇番七つのポイント

- ・「何が」  
まず「何があったか」お話しください
  - ・「いつ」  
発生時間は「今から二分前」など
  - ・「どこで」  
市町村名から、目標になる建物など
  - ・「けがは」  
けがの状態、救急車の手配など
  - ・「犯人は」  
何人・人相・性別・服装・特徴など
  - ・「何でとちらに逃げた」  
逃げた手段、方向など
  - ・「あなたは」  
住所・氏名・電話番号など
- 警察官の質問に冷静にお答えください。  
皆さんの正しく、積極的な  
一一〇番通報の利用を願  
いします。  
※お問い合わせ※  
Tel (〇八八七) 三四一〇一一〇  
安芸警察署  
地域課

## 身近な犯罪防ぐあなたの110番!



## 2005 国勢調査

ご協力  
ありがとうございます。  
ございました。

国勢調査結果の速報によると高知県の人口は796,196人、馬路村人口は1,170人となりました。国勢調査の結果は少子高齢社会への取り組みや皆さんのまちづくりにかかせません。



# 高知大附属病院からこんにちは⑥



とうじょうびょうよびぐん  
糖尿病予備軍が増えています

第二内科

いけだ ゆきお  
池田 幸雄 医師

## 糖尿病はどんな病気？

わたしたちは、活動に必要なエネルギーを食べ物に含まれる糖分から得ています。その糖分はブドウ糖として小腸から吸収されて血液に入ります。この血液中のブドウ糖が、すい臓から出るインスリンというホルモンの働きによって細胞の中に取り込まれ、エネルギーとして利用されます。すい臓には、ベータ細胞と呼ばれるインスリンの工場がありますが、何らかの原因でこの工場が壊されたり、太り過ぎ、食べ過ぎ、運動不足などでインスリンの働きが悪くなると、利用されないブドウ糖が血液の中に停滞して血糖値が高くなります。この状態が慢性的に持続する病気が糖尿病で、前者を1型糖尿病、後者を2型糖尿病と呼びます。我が国においては、1型糖尿病は少なく、大多数は生活習慣に関連した2型糖尿病です。糖尿病を十分に治療せずに放っておくと、ブドウ糖を過剰に含んだ血液が全身を巡り続け、眼や腎臓をはじめとする全身の血管や神経の障害が出てきます。

## 糖尿病は現代の国民病

糖尿病の診断は、空腹時の血糖値とブドウ糖を飲んで2時間後の血糖値によって「糖尿病型・境界型・正常型」のいずれかに判定します。正常ではないがまだ糖尿病まで至っていないのが境界型で、糖尿病予備軍ということになります。「予備軍は病気ではないので心配する必要はない」と考えがちですが、そのままの生活習慣を続けていくとやがて多くが糖尿病に移行します。また最近では、予備軍であっても、正常の人に比べると心筋梗塞や脳梗塞にかかりやすいということがわかってきました。我が国において、糖尿病は740万人、予備軍は880万人と推定されています。この両者を合わせると1620万人となり、20歳以上の成人6.3人に1人が糖尿病かその予備軍に相当することになりますので、まさに、現代の国民病といっても過言ではありません。

## 健康長寿のために

予備軍の方では通常お薬の治療は必要ありませんが、食事に気をつけて肥満を是正する、体を動かす、ストレスをためすぎないようにすることが大切です。食事に関しては、腹八分目にする、朝・昼・夕三食を規則正しくとる、ゆっくりよくかんで食べる、脂肪は控えめにする、食物繊維を多くとることが大切です。運動は余分なエネルギーを消費したり、インスリンの働きをよくする効果があります。しかし、無理な運動は避けて自分に合った運動を長く続けることが大切です。



ふせいみやく  
不整脈について

老年病科

やま さき なおひと  
山崎 直仁 医師

不整脈にはさまざまな種類があり、脈が正常より遅くなる場合もあれば、逆に非常に速くなる場合もあります。健康な方でも不整脈がみられることもあるのですが、心筋梗塞など心臓の筋肉の病気があって不整脈が生じることがあります。また、甲状腺ホルモンの異常が原因で心臓に不整脈が起こることもあります。

不整脈の症状で怖いのは失神です。これは不整脈により心臓から拍出される血液の量が減り、脳へ十分な血液が流れなくなった結果生じます。最悪の場合、突然死ということもあります。一般には動悸、脈のうちぎれを自覚される方が多いと思います。

治療が必要な不整脈とそうでないものとの分け目は、患者さんに自覚症状があるのか？もともと心臓の筋肉に病気があるのか？という2点が鍵になります。これまでに心筋梗塞と診断された方や心筋症と言われた方で、不整脈がある人は精密検査が必要です。また不整脈に基づく動悸、めまいなどの症状のある人は治療が必要になってきます。逆に心臓に異常がなく、自覚症状がなければ、いくら不整脈がでていても、治療が必要でない場合もあります。

具体的な治療内容は、不整脈の種類によって異なってきます。例えば、脈が遅くなるような不整脈では、ペースメーカーという心臓に刺激を与えるような機械を埋め込みます。ペースメーカーは、自分の心臓が休んでうたないときに心臓へ電気を流し、脈が遅くなりすぎないようにします。一方、脈が速くなるような不整脈では、心臓の中に細い管を入れ不整脈の通り道を焼くことにより不整脈が起こらなくするようなカテーテルアブレーションという治療を行います。また、不整脈がでるのを抑える薬を内服していただく場合もあります。

一番大事なことは不整脈を感じたときに、めまいや失神、ふらつきなどの症状があるかどうかです。そういった症状がある場合は早めに病院を受診されることをお勧めします。

侮れない糖尿病予備軍

不整脈にともなう症状にご注意

# 馬路村の歴史と伝説



馬路公民館長

山中 巖

〈通算第119回〉

## 一四〇、初風をあげる

昔は地区の若者が、風の大きさを争う競技であった。また、糸の切り合

てみそをつけたり、煮ものにして食べた。現在は山菜料理には欠かせない食材になっている。

一三、オザキ・谷口・堂の前

オザキは岬のように突き出た土地か？これらの土地に家を建てると災難に遭う。

一四、女三人寄れば姦しい  
女が三人集まるとやかましい。耳ざわりである。

## 村の故事・俗信 六

一五、丙午（ひのえうま）の

女は男を食う  
ひのえうま生まれの女は結婚すると男を死なせる。

一六、嫁して三年、子なきは去る

女は嫁入りして子どもが生まれぬ時は、その家を出なければならぬ。

一七、女は乱のもの

一八、女賢しゆうして牛を売りそこなう

## 一四九、女心と秋の空

私たちが青春時代、女性にこの言葉投げると、女性から大反対。女性は思いつめると心は変わらない。変わりやすいのは男心だと。

一五〇、女三界に家なし

女は幼い時は親に従い、嫁入りしては夫に従い、老いては子どもに従う。女はこの世、あの世に心の安まることはない。

一五一、間引きをする

江戸時代から明治の初めにかけて、生まれてくる子どもを仕末したことを間引きと言った。  
子どもは天から授かるので育てることのできない家庭では天へ返した。母親が仕

## 馬路村俳壇

御祓いを受けいる巫女や秋しぐれ  
的は「鬼」当たれば太鼓どどんどん  
弓のあと甘酒ちくと飲んどうせ  
患者脱ぐコートに匂う樟脳かな  
天高し千本山の親子杉  
秋の虹長女と次女の顔ゆるぶ  
コンテナに柚子こんもりと風の山  
みかん狩る幼の袂に手をそえて  
鈴虫の鳴き声ほそる夕まぐれ  
谷紅葉つり橋まではうちの山  
柿活けてまあるい時計は十一時  
勾玉を拭き新酒そなえる屋敷神  
山茶花の低きいちりん湯のほてり  
煮凝りとなりたる小鯛もて余す  
柚子採りの入山二十日ほどと言ふ  
あつまれば水はひびきぬ柚子の秋  
吊橋を拭いすばやく霧移る  
流水やなぎさの音のいつか冬

高芝 俊二  
高芝 栄子  
山崎喜久子  
中屋 良子  
池 蘭子  
東谷 晴男

魔王である。一切の人を食いつくし、この世において男にまつわりつき、来世の成仏の妨げとなり仇敵となる」と。これは修業僧への戒めと考えても女性差別を強く感じる。高野山・比叡山など女人禁制は明治になつて廃止された。



初風 (2.442㎡)  
馬路村郷土館蔵

敗戦後に初めて選挙権を与えられた。  
上記の俗信は女性差別から生まれたと考えられる。



# ふるさと の便り 15

早いもので馬路を離れて四十五年が経ちました。貿易関係の会社二社を経て、十六年前から国際貨物輸送を主とする会社に勤めています。その間、大阪を皮切りにアジア各地に駐在。長期滞在などを経て、名古屋、九州と転勤をくり返し、現在東京の下町、深川に住んで一年半になりました。この辺りは近くに隅田川が流れ、お江戸日本橋も、皇居（江戸城跡）も近くです。

生まれ故郷の言葉は良いものです。以前は馬路と言っても知っている人はいなく天気予報の中で「高知県の馬路村魚梁瀬で何ミリの雨」と聞くくらいでしたが、今は柚子の里として多くの人を知っており、生まれ故郷の話をする時に、遠く離れて住む者にとってはとても勇気付けられています。これからも皆さまの努力と創意、工夫で村を更に発展させて頂きたく、馬路村の熱烈なサポーターの一人として心から願っております。

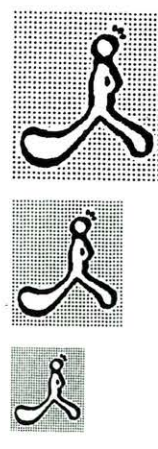
会社の入居するビルの隣が高島屋で、地下の食料品売り場ではよく買い物もしますが、そこには馬路の柚子製品が並んでおり馬路で買って帰る必要もなくなりました。また、特産品コーナーで馬路からPRに来ているのを見掛けた事が何度かあり、懐かしく「ゆず風味」を買ったついでに、販売員の女性に「オラあ、このラベルの写真の人の弟じゃけんど、おまんは馬路のドコゾね？」と聞いたところ、「私、馬路じゃないがやき、安芸です」と言われました。色々の言葉にも慣れましたが、やは



▲会社の事務所にて

サポーターとして  
熱烈な  
東京都 乾 襄二 (相名出身)

## フオト人ウオッチング③



私たちヘルスマイトは現在、馬路地区二十五人、魚梁瀬地区四人の合計二十九人の会員で活動し、「私たちの健康は私たちの手で」という全国統一スローガンの下で、地域社会のために、ほんの少しの知識や技術を提供しながら、温かいボランティア活動を行っている任意団体です。例えば、健康づくりのための学習会や料理講習会を開催した

り、保育所・学校訪問を通して食育についての普及活動を行っています。

今年は特に、食育基本法が施行され、私たちヘルスマイトの役割が大きくなってきました。「食文化」は本来、家庭の中で毎日の積み重ねにより伝わっていくものだと思いますが、現在では、お金さえ出せば手軽に食べるものが手に入る環境になりました。

## 馬路村食生活改善推進協議会 『ヘルスマイト』をご存じですか



皆さんの健康づくりを応援しています  
事務局…役場健康福祉課

また、成人のみならず、子どもたちにも増加傾向にある生活習慣病（糖尿病、循環器疾患等）も、日常生活習慣の積み重ねが影響しており、予防には食生活が深く関わっています。よい食生活は家庭から育っていくものです。今一度「食べる」ことの大切さを再認識し、「ただ食べる」から「考えて食べる」食卓に変わってほしいと私たちは願っています。「ちょっと無理して、楽しくボランティア」を合い言葉に、これからもピンのエプロンとともに、皆さんの笑顔あふれる食卓の手伝いをしていきたいと思

# お知らせ

日 日時  
所 場所  
内 内容  
申 申し込み先  
問 問い合わせ先  
TEL 電話

## 産業建設課からのお知らせ

### ニホンジカ捕獲報奨金

狩猟免許を受けている馬路村民が、次の期間中に馬路村内でニホンジカを捕獲し、その尻尾を添えて申請した場合、1頭につき5千円の報奨金をお支払いします。

- ①狩猟期間中
- ②有害鳥獣捕獲許可を受けた期間中

### 許可が必要です

特定の外来生物を飼養する場合は、許可が必要です。

詳しくは役場産業建設課までお問い合わせ下さい。

問・TEL 役場産業建設課 (4-2336)

## 平成17年度 自衛隊生徒募集

防衛庁では、中学校卒業生を対象とした自衛隊生徒を募集しています。

約3年間は、陸海空自衛隊生徒とも各学校で一般高校と同等の学科と各種技術の基礎を学びます。以後、陸海空各種学校で専門的な技術を学び部隊・機関等で活躍します。

- ◎ 高校卒業資格取得
- ◎ 入隊と同時に自衛隊生徒に任命  
(俸給152,300円)

受付期間：平成17年11月1日(火)～  
平成18年1月10日(火)

応募資格：平成18年4月1日現在  
15歳以上17歳未満の者  
中学校卒業生(見込みを含む)

1次試験：平成18年1月14日(土)

問・TEL 自衛隊高知地方連絡部安芸募集事務所  
(0887-35-2749)

## 放送大学4月入学生募集

放送大学はテレビ・ラジオで授業を行う通信制の大学です。ただ今、平成18年4月入学生を募集しています。

○募集学生の種類

－教養学部－

科目履修生(6か月在学し、希望する科目を履修)

選科履修生(1年間在学し、希望する科目を履修)

全科履修生(4年以上在学し、学士の学位の習得を目指す)

－大学院－

修士科目生(6か月在学し、希望する科目を履修)

修士選科生(1年間在学し、希望する科目を履修)

○受付期間

平成17年12月15日(木)～平成18年2月28日(火)

問・TEL 放送大学高知学習センター  
(088-843-4864)

## 産業別最低賃金改正

高知県電子応用装置、電子部品・デバイス製造業最低賃金が改正になりました。

○高知県電子応用装置、電子部品・デバイス製造業最低賃金

時間額 707円(平成17年12月30日改正発効)

※高知県内の最低賃金は、このほかに、高知県最低賃金(時間額613円)、高知県一般貨物自動車運送業最低賃金、高知県道路貨物運送業最低賃金があります。

問・TEL 高知労働局賃金室(088-885-6024)

## ピットリタイムレースのご案内

新年を迎え、新しい気持ちで新鮮な空気を胸いっぱい吸い込みながら、今年一年の健康を願って楽しく走りませんか。

内 あらかじめ各自の目標タイムを設定して申告しておき、実際に走った所要タイムと比較して誤差の少なかった人から順位をつけます。速さを競わないので、参加者全員に入賞のチャンスがあります。お気軽にご参加下さい。

日・所

・平成18年1月1日 午前9時30分から受付  
魚梁瀬多目的施設前

・平成18年1月2日 午前9時20分から受付  
就業改善センター前

問・TEL 馬路村教育委員会(4-2216)

## 村内あちらこちら



10月9日 馬路地区村民運動会



10月15日 魚梁瀬地区神祭



10月26日 乙女文楽 (馬路体育館)



10月29日 国保健康ウォーク (海南町)



11月22日 高知ファイティングドッグス優勝旅行歓迎会

## 村のできごと

### 《10月》●

- 2日 第14回おらが村・心臓やぶりフルマラソン大会
- 9日 馬路地区村民運動会
- 13日 郡市秋季陸上大会
- 14日 魚梁瀬古式弓射式
- 15日 魚梁瀬地区神祭 (～16日)
- 19日 馬路地区スカッシュバレーボール大会 (～20日)
- 22日 高知馬路会
- 23日 魚梁瀬地区村民大運動会
- 24日 神奈川県湘南学園高校2年生研修旅行で来村
- 26日 魚梁瀬はし拳大会  
文化祭関連事業「乙女文楽」  
馬路地区体力テスト
- 28日 村内小学校陸上記録会
- 29日 国保健康ウォーク
- 30日 生活体験通学合宿 (～11月2日)

### 《11月》●

- 4日 山の講演会 (魚梁瀬杉の家)
- 6日 山師達人選手権大会 (高知市)
- 7日 村内中学校職場体験学習 (～11日)
- 8日 戦没者追悼式  
三団体 (JA、森林、役場) 協議会
- 13日 秋の西又山登山
- 17日 臨時議会
- 23日 高知ファイティングドッグス来村
- 23日 アロマセラピストとの交流事業 (～24日)

### 馬路防災組織の経緯

- 7月6日 自主防災組織の説明会 (馬路地区)
- 21日 " (東川)
- 8月10日 " (魚梁瀬)
- 22日 " ( " )
- 9月4日 馬路村総合防災訓練 (魚梁瀬)
- 10月14日 自主防災組織の説明会 (相名)
- 21日 自主防災組織の役員会【規約と役員を決定】(相名)
- 28日 自主防災組織消火栓放水訓練 (北路・上坪)
- 11月5日 " (八川)
- 7日 " (下田)
- 8日 " (甫木・古田)
- 10日 自主防災組織の説明会 (朝日出)
- 11日 " (日浦)
- 14日 " (影)  
自主防災組織消火栓放水訓練 (落合)
- 17日 自主防災組織の説明会 (東川)
- 19日 自主防災組織消火栓放水訓練 (北路住宅)

## 12月・1月 むらの行事予定

日	月	12月	日	月	1月
1	木	馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~16:00	1	日	魚梁瀬地区ピットリタイムレース 元旦
2	金	馬路地区はし拳大会	②	月	馬路地区ピットリタイムレース 振替休日 成人式
3	土	馬路熊野神社秋の大祭	3	火	
4	日	舞神楽発表会 10:00~ 人権週間(~10日) 魚梁瀬中学校参観日	4	水	村内保育所始まり
5	月		5	木	馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~16:00
6	火	馬路小学校持久走大会	6	金	
7	水	絵本のよみきかせ(多目的施設) 10:30~ 馬路保育所もちつき 魚梁瀬小学校持久走大会	7	土	
8	木	馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~16:00	8	日	
9	金	3歳児健診(奈半利町保健センター) 13:00受付 人権行政相談(就業改善センター) 10:00~15:00	⑨	月	成人の日
10	土	第33回馬路村文化祭(~11日) 安芸郡市中学校新人球技大会(~11日)	10	火	村内各学校始業式、 絵本のよみきかせ(多目的施設) 10:30~
11	日		11	水	魚梁瀬健康ほっとサロン(多目的施設) 10:00~16:00 魚梁瀬子育て支援教室(多目的施設) 10:00~12:00
12	月	安芸地区へき地複式教育研修会(魚梁瀬小)	12	木	馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~16:00
13	火	絵本のよみきかせ(交流センター) 10:00~	13	金	一日行政相談(就業改善センター) 9:30~12:00 1歳6か月児健診(安田町保健センター) 13:00~受付
14	水	魚梁瀬健康ほっとサロン(多目的施設) 10:00~16:00 魚梁瀬子育て支援教室(多目的施設) 10:00~12:00	14	土	わくわく科学教室(就業改善センター) 9:30~12:00 第25回馬路村内芸能発表会(就業改善センター) 13:30~
15	木	馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~16:00 馬路小学校昔体験学習(天保の家)	15	日	馬路体育館清掃 9:00~ 第24回馬路村村民駅伝競争大会 13:30~
16	金	思春期子育て講座(多目的施設) 18:30~ 魚梁瀬中学校ふれあいもちつき 乳幼児健診(田野町保健センター) 13:00~受付 犬・猫引き取り日	16	月	
17	土	安芸郡市中学校新人球技大会	17	火	
18	日		18	水	馬路村学校教育研究会
19	月		19	木	馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~16:00
20	火		20	金	乳幼児健診(田野町保健センター) 13:00~受付
21	水	魚梁瀬健康ほっとサロン(多目的施設) 10:00~16:00	21	土	馬路中学校参観日(一日先生) 中学校冬季卓球大会(~22日)
22	木	馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~16:00 村内各学校終業式 馬路子育て支援教室(交流センター) 10:00~12:00 馬路保育所クリスマス会	22	日	
⑳	金	天皇誕生日	23	月	馬路小学校避難訓練
24	土		24	火	馬路小学校道徳参観日 絵本のよみきかせ(交流センター) 10:00~
25	日		25	水	魚梁瀬健康ほっとサロン(多目的施設) 10:00~16:00
26	月	村内各学校冬季休業	26	木	馬路健康ほっとサロン(交流センター) 10:00~16:00 馬路中学校新入生・ 馬路子育て支援教室(交流センター) 10:00~12:00 保護者説明会
27	火		27	金	
28	水	村内保育所終了	28	土	
29	木		29	日	
30	金		30	月	犬・猫引き取り日
31	土		31	火	馬路小学校体験入学・新入生保護者説明会

人口 月中異動	増 加				減 少				月末現在 人口合計
	出生	転入	職権	計	死亡	転出	職権	計	
10月	0	3	0	3	4	3	0	7	1,158
11月	1	0	0	1	1	1	0	2	1,157

(馬路 894人, 367世帯)  
(魚梁瀬 263人, 130世帯)

馬路村特別村民 1,567人 (11月30日現在)

編集発行：馬路村教育委員会

住 所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路443

TEL08874-4-2216 FAX08874-2-1010

E-mail adressumaji-v@kochinet.ed.jp

印 刷：有限会社 大鳥(安芸タイプ)